

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況

及び業績予想の修正に関するお知らせ(連結)

平成18年8月4日

上場会社名 日本マイクロコーディング株式会社

(JASDAQ・コード番号:5381)

(URL <http://www.mipox.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 渡邊 信義

責任者役職・氏名 専務取締役 礪波 時夫

TEL:(042)543-4711

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	2,411	(14.0)	352	(332.3)	352	(239.0)	239	(259.8)
18年3月期第1四半期	2,115	(△10.1)	81	(△73.3)	104	(△67.6)	66	(△68.8)
(参考)18年3月期	8,966		851		896		529	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	23	49	23	49
18年3月期第1四半期	6	48	6	48
(参考)18年3月期	49	30	49	28

(注)1. 期中平均株式数 19年3月期第1四半期 10,182,768株 18年3月期 10,216,265株

18年3月期第1四半期 10,258,855株

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済の動向は、個人消費や設備投資などの内需主導により、景気が穏やかに拡大し始めました。当社と係わりが深いプラズマテレビや高機能デジタルカメラなど国内外ともに好調で、電子部品の売上が伸びています。しかしながら、原油価格の高騰と原材料の価格上昇、最終製品の価格競争など、不安材料も内在しております。

このような経済状況のもと、当社グループの第1四半期連結業績は、売上高2,411百万円(前年同期比114.0%)、営業利益352百万円(前年同期比432.3%)、経常利益352百万円(前年同期比339.0%)、第1四半期純利益239百万円(前年同期比359.8%)となりました。

当第1四半期業績の地域別状況は、次のとおりであります。

日本国内の売上高は2,223百万円となり、前年同期比416百万円増加(前年同期比123.0%)となりました。この主な要因は、次のとおりであります。

## 1. 増収要因

- ① ポリッシングリキッド関連売上は、前年同期比25.6%の増収となりました。  
ガラス用ポリッシングリキッドは前期下期以降安定した売上が続き、前年同期に生じた在庫調整の影響は一過性に終わりました。  
特に、液晶用研磨テープ売上の一部は、第2四半期計画の前倒し計上となりました。
- ② ポリッシングフィルム関連売上は、前年同期比28.1%の増収となりました。  
半導体関連の研磨機械や光ファイバーの端面研磨に使用するダイヤモンドテープ売上が好調であったことと、液晶用のパネルクリーニング機に使用する研磨テープ売上が伸びたことにより増収となりました。
- ③ 受託製造関連売上は、前年同期比37.5%の増収となりました。  
前年同期に比べ、特にプラズマディスプレイ（PDP）用の高機能フィルムが25.7%増収となりました。

## 2. 減収要因

- ① ポリッシングマシン関連売上は、前年同期比23.8%の減収となりました。  
前年同期に比べ、半導体関連の研磨機械売上が約30%、液晶用パネルクリーニング機売上が約7%、減少したことによります。  
機械装置の売上はお客様の設備動向と深く連動し、当初計画では第2四半期に売上計上を予想していた、液晶用パネルクリーニング機及び半導体関連研磨機の売上が前倒し計上となりました。

米国の連結子会社（M. I. C.）の状況は、前年同期比36.3%の減収となりました。

順調に拡大をしている光ファイバー市場向けポリッシングフィルムの売上が堅調でしたが、前々期に大量受注のあったハードディスク用研磨機の期ズレ売上が前年同期にあり、ハードディスク関連売上は約70%強減収となりました。

マレーシアの連結子会社（M. M. S.）の状況は、前年同期比15.1%の増収となりました。

米国の連結子会社（M. I. C.）同様、光ファイバー市場向けポリッシングフィルムの売上が堅調に推移し、また、スリット受託加工の売上も拡大しました。

中国上海の連結子会社（M. I. S.）の状況は、前年同期比312.3%の増収となりました。

この大幅な売上の伸びは、前期から取り組みを始めた研磨テープの後加工が軌道に乗ったことによる増収であります。

当初計画対比利益面の改善要因は、次のとおりであります。

- ① 当社の主力製品でありますガラス用ポリッシングリキッド売上が復調したこと。
- ② 受託製造売上の多くを占めるPDP関連の歩留が安定化したこと。
- ③ 半導体関連並びに光ファイバー関連で使用されるダイヤモンドテープ売上が増加したこと。

など相対的に利益貢献度のある品目売上が増加したため、連結営業利益並びに連結経常利益は前年同期比大幅に改善いたしました。

用途別売上高（連結）の第1四半期（平成18年4月1日～平成18年6月30日）累計額は、次のとおりであります。

連結用途別売上高の状況

	売上高	構成比	前年同期比
	百万円	%	%
磁気ヘッド関連	94	3.9	—
ハードディスク関連	642	26.6	—
光ファイバー関連	204	8.5	—
液晶関連	191	7.9	—
半導体関連	279	11.6	—
受託製造	885	36.7	—
その他の用途	112	4.8	—
合計	2,411	100.0	—

（注） 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第1四半期	13,828	8,122	58.7	797	71
18年3月期第1四半期	13,410	7,530	56.2	733	95
(参考) 18年3月期	13,804	8,051	58.3	788	09

（注）1. 期末発行済株式数 19年3月期第1四半期 10,182,702株 18年3月期 10,182,862株  
18年3月期第1四半期 10,260,642株

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し、13,828百万円となりました。

流動資産合計の増減要因は、現金及び預金の減少405百万円、受取手形及び売掛金の増加66百万円、たな卸資産の増加214百万円などがあり、固定資産合計の増加要因は、その他（ソフトウェア仮勘定）の増加107百万円などがありました。

また、負債合計の増減要因は、支払手形及び買掛金の増加114百万円、賞与引当金の増加64百万円や借入金の減少198百万円、未払法人税等の減少66百万円などがありました。

純資産合計では、利益剰余金などが増加し、71百万円の増加となりました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想

(1) 中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円
今回発表予想（A）	4,590	550	313
前回発表予想（B） （平成18年5月26日発表）	4,400	319	181
増減額（A－B）	190	231	132
増減率	4.3 %	72.6 %	73.2 %

(2) 通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回発表予想（A）	9,700	1,017	579
前回発表予想（B） （平成18年5月26日発表）	9,700	1,017	579
増減額（A－B）	—	—	—
増減率	—	—	—

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期）56円94銭の修正はありません。

[業績予想に関する定性的情報等]

当中間期の業績予想につきましては、平成18年5月26日に公表いたしました予想を修正し、売上高を4,590百万円（前年同期比104.3%）、経常利益を550百万円（前年同期比172.6%）、中間純利益を313百万円（前年同期比173.2%）といたします。

通期の業績予想につきましては、平成18年5月26日に公表いたしました売上高9,700百万円（前年同期比108.2%）、経常利益1,017百万円（前年同期比146.0%）、当期純利益579百万円（前年同期比109.5%）の予想どおりであります。

ハードディスク関連市場では、引き続き携帯用音楽プレーヤーや携帯電話等のモバイル系には、小径のガラスディスクを使用したハードディスクドライブ（HDD）の搭載が拡大するものと思われます。これらが拡大する反面、デジタル家電の最終製品価格はますます値下げ傾向が強まり、当社が提供する消耗品への値下げ要請が今まで以上に激化する様相を呈しております。さらに、ハードディスクの記録技術が「水平磁気記録」から「垂直磁気記録」に移行する速度が加速する可能性があり、これらの要因を総合的に検討した結果、下期以降の動向は不透明感がありますので、販売数量並びに単価下落等のリスク要因を計画に織り込み、通期の同市場連結売上予想は前年同期と同程度と見込んでおります。

受託製造関連は、フラットパネルディスプレイの液晶TVとプラズマTVの競争激化に伴い、当社が受託製造を委託されている製品についてはその影響を全面的に受け、販売単価見直し等のリスク要因が発生する可能性を計画に織り込みました。また、受託製品の歩留向上に努める所存ですが、収益予想は厳しいスタンスで計画を見直しました。通期の同市場連結売上予想は前年同期比1割程度の増収を見込んでおります。

液晶関連は、パネルクリーニング機の拡販と液晶用研磨テープの販売拡大を見込み、通期の同市場連結売上予想は前年同期比1割程度の増収を見込んでおります。

半導体関連は、300mmウエハの設備投資意欲は旺盛であります。機械装置の導入時期は来期になる可能性があり、エッジ研磨機の販売台数を厳しく試算し、相対的に利益への貢献度の高いダイヤモンドテープ拡販を中心に計画を見直しました。また、CMPパッドは、既に認定を受けているお客様の量産ラインでの使用を促進するため、経営資源を集中させる方針であります。通期の同市場連結売上予想は前年同期比研磨機械販売台数の減少等により1割程度の減収を見込んでおります。

光ファイバー関連は、光ファイバー端面研磨仕上げテープのラインナップが増えたことにより、中国市場や米国市場において当社のシェアアップを図り、通期の同市場連結売上予想を前年同期比8割程度の増収を見込んでおります。

利益面においては、原油価格の高騰による原材料費の増加や価格下落圧力が続く中で、当社の効率経営による高付加価値化で値崩れをどこまで食いとどめることができるか、が課題であります。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書、（要約）四半期連結株主資本等変動計算書  
（要約）四半期連結剰余金計算書

以 上

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	2,835,975		2,959,374		△123,398		3,241,718	
2. 受取手形及び売掛金	3,182,519		2,868,498		314,020		3,115,764	
3. たな卸資産	1,119,399		1,088,270		31,128		904,459	
4. 繰延税金資産	189,363		173,129		16,234		159,823	
5. その他	168,616		100,281		68,334		143,052	
貸倒引当金	△5,750		△6,296		546		△5,816	
流動資産合計	7,490,123	54.2	7,183,257	53.6	306,865	4.3	7,559,002	54.8
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	5,653,956		5,608,934		45,021		5,636,958	
(2) 機械装置及び運搬具	1,420,947		1,342,082		78,865		1,361,121	
(3) その他	394,475		369,500		24,975		402,966	
減価償却累計額	△3,822,633		△3,487,902		△334,730		△3,727,243	
(4) 土地	1,444,289		1,444,289		—		1,444,289	
有形固定資産合計	5,091,036	36.8	5,276,904	39.3	△185,868	△3.5	5,118,094	37.1
2. 無形固定資産								
(1) その他	221,697		35,113		186,583		114,091	
無形固定資産合計	221,697	1.6	35,113	0.3	186,583	531.4	114,091	0.8
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	555,703		410,474		145,229		543,435	
(2) 繰延税金資産	214,393		241,991		△27,597		209,418	
(3) その他	267,132		274,642		△7,510		272,144	
貸倒引当金	△11,497		△12,160		663		△11,497	
投資その他の資産合計	1,025,732	7.4	914,947	6.8	110,785	12.1	1,013,500	7.3
固定資産合計	6,338,466	45.8	6,226,966	46.4	111,500	1.8	6,245,686	45.2
資産合計	13,828,590	100.0	13,410,223	100.0	418,366	3.1	13,804,689	100.0

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	1,343,985		1,048,213		295,772		1,229,405	
2. 短期借入金	1,668,234		1,550,000		118,234		1,669,861	
3. 1年以内返済予定 長期借入金	506,219		753,712		△247,493		609,438	
4. 未払法人税等	149,768		35,056		114,712		216,454	
5. 賞与引当金	194,999		247,544		△52,545		130,000	
6. その他	499,080		506,090		△7,009		468,248	
流動負債合計	4,362,288	31.6	4,140,615	30.9	221,672	5.4	4,323,407	31.3
II 固定負債								
1. 長期借入金	818,624		1,250,236		△431,612		912,564	
2. 退職給付引当金	200,246		173,387		26,859		191,682	
3. 役員退職慰労引当金	—		315,217		△315,217		—	
4. 未払役員退職慰労金	311,050		—		311,050		315,217	
5. 繰延税金負債	13,560		—		13,560		10,782	
固定負債合計	1,343,482	9.7	1,738,841	12.9	△395,359	△22.7	1,430,246	10.4
負債合計	5,705,770	41.3	5,879,457	43.8	△173,686	△3.0	5,753,653	41.7
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	—	—	—	—	—	—
(資本の部)								
I 資本金	—	—	1,998,700	14.9	△1,998,700	—	1,998,700	14.5
II 資本剰余金	—	—	2,953,700	22.0	△2,953,700	—	2,953,700	21.4
III 利益剰余金	—	—	2,905,809	21.7	△2,905,809	—	3,368,329	24.4
IV その他有価証券 評価差額金	—	—	42,243	0.3	△42,243	—	82,194	0.6
V 為替換算調整勘定	—	—	49,629	0.4	△49,629	—	128,527	0.9
VI 自己株式	—	—	△419,315	△3.1	419,315	—	△480,415	△3.5
資本合計	—	—	7,530,766	56.2	△7,530,766	—	8,051,035	58.3
負債・少数株主持分 及び資本合計	—	—	13,410,223	100.0	△13,410,223	—	13,804,689	100.0
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	1,998,700	14.5	—	—	1,998,700	—	—	—
2. 資本剰余金	2,953,700	21.4	—	—	2,953,700	—	—	—
3. 利益剰余金	3,449,155	24.9	—	—	3,449,155	—	—	—
4. 自己株式	△480,542	△3.5	—	—	△480,542	—	—	—
株主資本合計	7,921,013	57.3	—	—	7,921,013	—	—	—
II 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価 差額金	81,116	0.5	—	—	81,116	—	—	—
2. 為替換算調整勘定	120,690	0.9	—	—	120,690	—	—	—
評価・換算差額等合計	201,806	1.4	—	—	201,806	—	—	—
III 新株予約権	—	—	—	—	—	—	—	—
IV 少数株主持分	—	—	—	—	—	—	—	—
純資産合計	8,122,819	58.7	—	—	8,122,819	—	—	—
負債及び純資産合計	13,828,590	100.0	—	—	13,828,590	—	—	—

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		増 減		(参 考) 平成18年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	2,411,231	100.0	2,115,458	100.0	295,773	14.0	8,966,039	100.0
II 売上原価	1,435,201	59.5	1,422,202	67.2	12,999	0.9	5,591,198	62.4
売上総利益	976,029	40.5	693,255	32.8	282,773	40.8	3,374,840	37.6
III 販売費及び一般管理費								
1. 荷造運搬費	37,002		34,796		2,205		137,491	
2. 給与・賞与	153,723		176,393		△22,669		797,528	
3. 賞与引当金繰入額	16,300		42,578		△26,278		40,014	
4. 退職給付費用	3,726		3,525		201		13,914	
5. 減価償却費	21,823		22,991		△1,167		98,283	
6. 研究開発費	205,717		90,526		115,190		515,483	
7. その他	185,011		240,859		△55,847		920,885	
販売費及び一般管理費合計	623,305	25.9	611,671	28.9	11,633	1.9	2,523,600	28.1
営業利益	352,724	14.6	81,584	3.9	271,140	332.3	851,240	9.5
IV 営業外収益								
1. 受取利息	1,323		448		874		3,815	
2. 受取賃貸料	5,303		6,440		△1,136		21,832	
3. 為替差益	—		13,297		△13,297		41,052	
4. その他	11,994		15,027		△3,033		29,139	
営業外収益合計	18,620	0.8	35,213	1.6	△16,592	△47.1	95,839	1.1
V 営業外費用								
1. 支払利息	10,097		12,422		△2,324		48,020	
2. 為替差損	6,948		—		6,948		—	
3. その他	1,572		314		1,258		2,062	
営業外費用合計	18,619	0.8	12,736	0.6	5,882	46.2	50,083	0.6
経常利益	352,726	14.7	104,061	4.9	248,664	239.0	896,996	10.0
VI 特別利益								
1. 貸倒引当金戻入益	—		—		—		1,677	
2. 固定資産売却益	—		1,949		△1,949		1,801	
3. ゴルフ会員権売却益	—		500		△500		500	
特別利益合計	—	—	2,449	0.1	△2,449	△100.0	3,978	0.0
VII 特別損失								
1. 固定資産売却損	—		—		—		705	
2. 固定資産除却損	754		2,144		△1,390		30,243	
3. ゴルフ会員権売却損	—		595		△595		595	
4. たな卸資産廃棄損	—		—		—		70,992	
特別損失合計	754	0.0	2,739	0.1	△1,985	△72.5	102,536	1.1
税金等調整前 四半期(当期)純利益	351,971	14.6	103,771	4.9	248,200	239.2	798,438	8.9
法人税、住民税 及び事業税	145,163	6.0	40,938	1.9	104,224	254.6	225,827	2.5
法人税等調整額	△32,395	△1.3	△3,646	△0.2	△28,749	788.4	42,986	0.5
四半期(当期)純利益	239,203	9.9	66,478	3.2	172,724	259.8	529,624	5.9

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### 3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	1,998,700	2,953,700	3,368,329	△480,415	7,840,313
当四半期の変動額					
剰余金の配当	—	—	△132,377	—	△132,377
役員賞与の支給	—	—	△26,000	—	△26,000
四半期純利益	—	—	239,203	—	239,203
自己株式の取得	—	—	—	△126	△126
自己株式の処分	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計	—	—	80,826	△126	80,700
平成18年6月30日残高	1,998,700	2,953,700	3,449,155	△480,542	7,921,013

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	82,194	128,527	210,722	—	—	8,051,035
当四半期の変動額						
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△132,377
役員賞与の支給	—	—	—	—	—	△26,000
四半期純利益	—	—	—	—	—	239,203
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△126
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	△1,078	△7,837	△8,915	—	—	△8,915
当四半期の変動額合計	△1,078	△7,837	△8,915	—	—	71,784
平成18年6月30日残高	81,116	120,690	201,806	—	—	8,122,819

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



## 4. (要約) 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 (平成18年3月期第1四半期)		(参 考) (平成18年3月期)	
	金 額		金 額	
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高		2,953,700		2,953,700
II 資本剰余金四半期末(期末)残高		2,953,700		2,953,700
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高		3,071,020		3,071,020
II 利益剰余金増加高				
1. 当期純利益	66,478		529,624	
2. 連結子会社増加による 増加額	411	66,890	400	530,024
III 利益剰余金減少高				
1. 配当金	194,891		194,891	
2. 役員賞与金	37,000		37,000	
3. 自己株式処分差損	210	232,102	824	232,716
IV 利益剰余金四半期末(期末)残高		2,905,809		3,368,329

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。